平成25年６月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年５月２日

上場会社名　　株式会社ブレインパッド　　上場取引所　東
コード番号　　3655　　ＵＲＬ　http://www.brainpad.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）草野　隆史（戸籍名：高橋　隆史）
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）池田　直紀　　ＴＥＬ　03-5791-4210

四半期報告書提出予定日　　平成25年５月10日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年６月期第３四半期の連結業績（平成24年７月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年６月期第３四半期	1,400	－	97	－	80	－	44	－
24年６月期第３四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　　25年６月期第３四半期　　43百万円　（－%）　　24年６月期第３四半期　　－百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年６月期第３四半期	6.68	6.53
24年６月期第３四半期	－	－

（注）
１．平成25年６月期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年６月期第３四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
２．当社は平成24年12月１日付で、普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年６月期第３四半期	1,305	1,029	78.8
24年６月期	－	－	－

（参考）自己資本　　25年６月期第３四半期　　1,029百万円　　24年６月期　　－百万円
（注）平成25年６月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年６月期の数値については記載しておりません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年６月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年６月期	－	0.00	－		
25年６月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年６月期の連結業績予想（平成24年７月１日～平成25年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,470	－	377	－	329	－	197	－	30.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

１．平成25年６月期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。
２．当社は平成24年12月１日付で、普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー
（注）詳細は、添付資料P.３「２．（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：　無
②　①以外の会計方針の変更	：　無
③　会計上の見積りの変更	：　無
④　修正再表示	：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年６月期３Ｑ	6,599,056株	24年６月期	6,568,660株
②　期末自己株式数	25年６月期３Ｑ	34株	24年６月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年６月期３Ｑ	6,586,428株	24年６月期３Ｑ	6,090,458株

（注）当社は平成24年12月１日付で、普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．当社は、平成25年６月期第１四半期連結会計期間に子会社を設立したため、平成25年６月期第１四半期決算より四半期連結財務諸表を作成しております。

２．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.３「１．（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

３．四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の持ち直しや、政府の経済施策への期待感の高まりによる円高修正・株高が進み、景気の持ち直しの動きが見られるようになりました。一方で、国内企業の生産性の伸び悩みや欧州情勢の不安定要因もあり、企業の設備投資には慎重姿勢も見られ、国内のＩＴサービス市場の成長は緩やかなものに留まりました。

このような中、当社は、「ビッグデータ」トレンドを受けた企業内におけるデータ活用意欲の高まりを受け、当社が取り扱うＢＩ(注１)・ＢＡ(注２)ツールおよび分析ノウハウを活かした汎用的なサービスソリューションの販売促進に引き続き注力いたしました。

また、当期を「投資の１年」と位置づける中で、各事業において、中長期的な成長を実現するための土台作りを推し進めました。その一環として、中華人民共和国遼寧省大連市に現地法人を設立し、主にアナリティクス事業およびＢＰＯ(注３)の新たな拠点として、本年３月より営業を開始いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,400,111千円、営業利益は97,710千円、経常利益は80,066千円、四半期純利益は44,028千円となりました。

続きまして、セグメント別の業績は次のとおりであります。

（アナリティクス事業）

アナリティクス事業は、企業の有する大量データを分析するデータマイニングと、その分析結果に基づく企業行動の最適化支援を、幅広い顧客向けに提供している当社グループの主要事業であります。

当第３四半期連結累計期間におきましては、営業部門との連携を強化し、データ分析の受注促進に向けたプリセールス(注４)や自社セミナー等のマーケティング活動を積極的に行うとともに、安定的なサービス提供に取り組みました。

一方、今後のビッグデータ分析の需要拡大に伴い分析案件が多様化することを想定し、クラウド化による社内の分析環境の改善や、分析官の継続的な採用・育成の実現に向けた施策の立ち上げ等を推し進めました。

この結果、売上高は495,170千円、セグメント利益は164,019千円となりました。

（ソリューション事業）

ソリューション事業は、顧客企業に対して、データ分析および分析結果に基づくマーケティング活動に必要なソフトウェアのライセンス提供とシステム開発を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、営業・販売体制のさらなる強化を行い、当事業の主力製品である「smartFOCUS」（マーケティング・オートメーション・ソフトウェア）を中心に、ＢＩ・ＢＡツールの需要拡大を商機とした積極的な営業活動を行いました。加えて、第２四半期連結会計期間に販売代理店契約を締結した「KXEN」（次世代データマイニング・ソフトウェア）に続き、独自性の強い新たな海外製品の取り扱いを開始し、製品ラインナップの拡大を推し進めました。また、個別企業向けのデータ分析環境構築のためのシステム開発が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は460,536千円、セグメント利益は91,698千円となりました。

（ＡＳＰ関連事業）

ＡＳＰ関連事業は、当社が着目したデータ分析系のアルゴリズムから独自性の強いソフトウェアを自社開発し、ＡＳＰサービス(注５)による顧客企業への提供と、その保守業務等を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、独自性の強い主力の２つのサービス「Rtoaster」（Webプラットフォーム・レコメンドエンジン）、「L2Mixer」（リスティング広告の最適化ツール）の機能追加に取り組み、ストックビジネス(注６)の伸長による売上増と安定的な利益確保に注力いたしました。このうち、「Rtoaster」については、第２四半期連結会計期間に新たにインターネットサービス事業者より大型案件を受注し、堅調に推移しております。

また、技術進化や環境変化の激しいアドテクノロジー領域への対応を迅速化するため、社内のアドテクノロジー関連業務を一元化するとともに、「Rtoaster」に広告配信機能を追加した新サービス「Rtoaster Ads」の販売を開始いたしました。

この結果、売上高は444,404千円、セグメント利益は174,734千円となりました。

（注１）ビジネスインテリジェンス（Business Intelligence）の略。企業等の組織のデータを、収集・蓄積・分析・報告することで、経営上の意思決定に役立てる手法や技術のこと。
（注２）ビジネスアナリティクス（Business Analytics）の略。企業等の組織のデータを最大限に活用し、将来起こり得る事態を予測することによって、経営上の意思決定に役立てること。
（注３）自社の業務プロセスの一部を子会社や外部の専門会社等に委託すること。
（注４）システムの構築やソフトウェア製品の販売・導入の際に、営業担当者に同行し、技術的な知識を用いて営業担当者をサポートすること。
（注５）アプリケーションソフトの機能をインターネットを通じて顧客に提供すること。
（注６）顧客数に応じて比例的に安定収益を得られるビジネスのこと。「Rtoaster」「L2Mixer」は、ＡＳＰサービスの月額利用料や保守料等が売上の中心を占める。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、1,305,558千円となりました。

流動資産の残高は、895,594千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が386,278千円、受取手形及び売掛金が354,096千円であります。また、固定資産の残高は、409,963千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が89,020千円、無形固定資産が263,775千円、投資その他の資産が57,167千円であります。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、275,764千円となりました。

流動負債の残高は、262,416千円となりました。主な内訳は、未払費用が107,419千円、前受収益が31,893千円、買掛金が46,049千円であります。また、固定負債の残高は、13,348千円となりました。内訳は、長期借入金が13,348千円であります。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,029,794千円となりました。

主な内訳は、資本金が327,118千円、資本剰余金が303,818千円、利益剰余金が397,521千円、少数株主持分が580千円であります。この結果、自己資本比率は78.8%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当期の第１四半期連結会計期間において連結子会社 株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズを新たに設立したため、第１四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しております。しかしながら、子会社設立に伴う当期の連結業績に与える影響は軽微であるため、平成24年８月９日公表の個別業績予想の金額を連結業績予想として開示しており、現時点で、その業績予想値の変更はございません。

（業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお第１四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズを連結の範囲に含めております。

また当第３四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズは、博湃信息服务（大连）有限公司を新たに設立し、同社を連結子会社としております。

この結果、当社グループは、平成25年３月31日現在では、当社及び連結子会社２社により構成されております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成25年３月31日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	386,278
受取手形及び売掛金	354,096
仕掛品	32,523
繰延税金資産	4,514
その他	118,182
流動資産合計	895,594
固定資産	
有形固定資産	89,020
無形固定資産	
ソフトウエア	222,086
その他	41,689
無形固定資産合計	263,775
投資その他の資産	57,167
固定資産合計	409,963
資産合計	1,305,558
負債の部	
流動負債	
買掛金	46,049
1年内返済予定の長期借入金	9,996
未払金	24,689
未払費用	107,419
前受収益	31,893
未払法人税等	35
資産除去債務	14,962
その他	27,372
流動負債合計	262,416
固定負債	
長期借入金	13,348
固定負債合計	13,348
負債合計	275,764
純資産の部	
株主資本	
資本金	327,118
資本剰余金	303,818
利益剰余金	397,521
自己株式	△23
株主資本合計	1,028,434
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	778
その他の包括利益累計額合計	778
少数株主持分	580
純資産合計	1,029,794
負債純資産合計	1,305,558

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	1,400,111
売上原価	767,327
売上総利益	632,784
販売費及び一般管理費	535,073
営業利益	97,710
営業外収益	
受取利息	126
受取配当金	452
その他	28
営業外収益合計	608
営業外費用	
支払利息	943
支払手数料	15,450
その他	1,858
営業外費用合計	18,252
経常利益	80,066
税金等調整前四半期純利益	80,066
法人税、住民税及び事業税	34,179
法人税等調整額	2,915
法人税等合計	37,094
少数株主損益調整前四半期純利益	42,972
少数株主損失（△）	△1,056
四半期純利益	44,028

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	42,972
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	916
その他の包括利益合計	916
四半期包括利益	43,888
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	44,807
少数株主に係る四半期包括利益	△919

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アナリティクス事業	ソリューション事業	ＡＳＰ関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	495,170	460,536	444,404	1,400,111	－	1,400,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	495,170	460,536	444,404	1,400,111	－	1,400,111
セグメント利益	164,019	91,698	174,734	430,453	△332,742	97,710

（注）１　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用332,742千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）
該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。